

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国よりも低く、全般的に記述式の設問や「書くこと」に関する観点で課題がみられます。一方で、「話すこと・聞くこと」については全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に、必要に応じて質問しながら話の内容をとらえることや、資料を用いて自分の考えをわかりやすく伝える表現力については高い定着率がみられます。
- ・数学の平均正答率は全国よりも低く、課題がみられます。特に「数と式」や「データの活用」について、知識や理解が不足している傾向にあります。また、「記述式」の問題形式に苦手意識をもつ生徒が多く、正答率が低くなっています。一方で、基本的な確率を求める問題については高い定着率がみられます。さらに「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか」を考える割合は全国より高いです。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向が認められる項目
「自分にはよいところがあると思いますか」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「人が困っているときには進んで助けますか」「困りごとや不安があるとき先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」について非常に高い数値を示しており、良好な人間関係が気づけていると考えられます。また、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」についても高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「学校の授業以外に3時間以上勉強する」とした生徒の割合が低く、「1時間より少ない」や「全くしない」と回答した生徒の割合が全国平均よりも高いため、家庭学習へ取り組む意識に課題がみられます。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・国語の授業では、条件を設定した「書く」活動の機会を増やし、自分の考えをまとめて表現する力を育てます。
- ・数学の授業では、「数と式」や「データの活用」の学習において、ワークシートなどを活用し、既習事項の問題演習を繰り返すことで知識の定着を図ります。また、言語活動を取り入れた授業を行い、記述問題への苦手意識の軽減を目指します。
- ・ICTを活用し、自分で学習する機会を増やすことを通じて、自主学習への取り組み意欲を高めます。
- ・家庭学習の重要性についての学習会を開催し、家庭学習の定着を推進します。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・お子さんの家庭学習の様子に関心を持ち、子どもたちが自ら学習に取り組むことができるよう必要に応じて声をかけてください。
- ・朝食の摂取、睡眠時間の確保等の生活習慣の確立について、引き続きご協力をお願いします。
- ・子どもたちの優しさや思いやりといった人間性を育むために、学校や地域との連携に、引き続きご理解とご協力をお願いします。